田浦遺跡の埴輪出土地点と子安観音古墳（背後の白い建物の後方）

円筒埴輪出土状況

弥生後期全景（北から）（黒谷川郡頭遺跡）

溝内への土器・石杵などの廃棄状況（黒谷川郡頭遺跡）

は　じ　め　に

本書は，平成 24 年度に公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターが実施した事業の概要をまとめたものです。

徳島県から委託を受け，発掘調査・出土資料整理・普及事業などを実施し，大きな成果を上げることができました。

発掘調査では 6 遺跡の発掘調査を実施しました。国交省関連事業の新直轄・徳島横断自動車道が事業の過半を占め，農政局・県関係の発掘調査の事業を実施しました。これらとは別に今年度からの新たな事業の枠組みとして市町村支援事業を行っています。市町村事業に対して県教委との協議を元に財団が支援するという形をとっています。

出土資料整理事業においては，2 遺跡の作業を行いました。南蔵本遺跡の整理と分析，渋野遺跡の整理と報告書刊行を行いました。

普及事業では，速報展「発掘とくしま 2012」とその関連行事ほか，各種の研修を積極的に受け入れました。

また，県立埋蔵文化財総合センターの指定管理者として新たな指定を受けました。自主事業を再編し，各種の体験メニューのほか，企画展や連続講座を企画・実施しました。平成 23 年度より，当センターを活動拠点とするボランティア活動の支援を行っております。3 つのコースでの活動を実践しながら，成果をみていただく機会を設けたり，各種行事でのサポートとして活躍しています。

今後とも，県民のみなさまの期待に添うよう努力して参りますので，より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人　徳島県埋蔵文化財センター
理事長　　福　家　清　司

目　　次

Ⅰ　公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの概要 …… 4
Ⅱ　平成 24 年度事業概要 …… 6
Ⅲ　調査事業報告 …… 9
調査事業一覧 …… 10
県単独事業関連発掘調査
加茂野遺跡 …… 11
外部委託事業関連発掘調査
新居見遺跡 …… 12
法花谷古墳群 …… 13
田浦遺跡 …… 14
黒谷川郡頭遺跡 …… 15
深瀬遺跡 …… 16
Ⅳ　整理事業報告 …… 17
県単独事業関連
南蔵本遺跡 …… 17
渋野遺跡 …… 17
Ⅴ　普及事業報告
1　管理運営業務 …… 18
2　徳島県立埋蔵文化財総合センター（対象施設）の管理運営業務 …… 18
3　普及事業の共催 …… 22
4　その他の普及事業 …… 23

例　　言

1　本書は公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの平成 24 年度事業をまとめた年報である。

2　Ⅲ調査事業報告に関する地形図は国土地理院発行 1 ／ 50,000 地形図を転載したものであり，各図に図幅名を記した。

3　Ⅲ調査事業報告・Ⅳ整理事業報告・Ⅴ普及事業の概要は各担当が執筆し，その責を文末に記した。

平成 24 年度　公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの組織

平成 24 年 4 月 1 日現在

1　評議員・役員

評　議　員	天羽　利夫	鳥居龍蔵を語る会代表
	木原　克司	鳴門教育大学大学院教授
	村澤　普恵	徳島大学国際コーディネーター
	仁義　知得	元県立美術館長
	伊丹　康裕	元県中央児童相談所長
理　事　長	福家　清司	県教育委員会教育長
副理事長	板東　　武	元鳴門市第一中学校長
専務理事	小西　　孝	所長
常務理事	菅原　康夫	事務局長・県教育委員会局付
理　　事	真鍋　俊照	四国大学教授，大日寺住職
	佐々木清克	徳島文理大学准教授
	両角　芳郎	元県立博物館長
	吉田　一紀	学校法人穴吹学園理事・校長
	竹原　紀幸	元県教育委員会教育文化政策課長
	湯浅　利彦	県教育委員会教育文化政策課長
監　　事	長地　孝夫	公認会計士
	井上　　薫	県教育委員会生涯学習政策課長

2　職　　員

所　　長（専務理事）　小西　　孝
事務局長（常務理事）　菅原　康夫

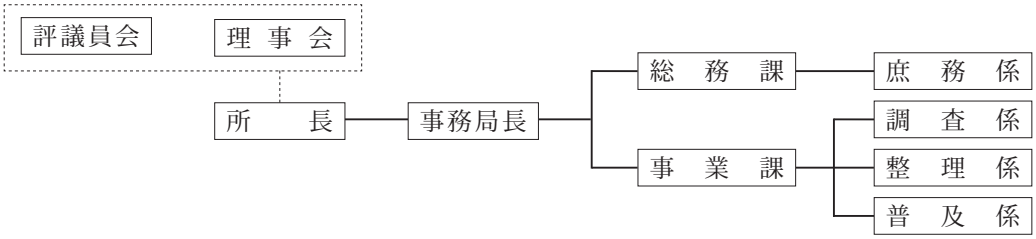
◇総　務　課

課　　長	漆川　明彦
庶　務　係	
庶務係長	大橋　育順
主　　任	圓藤早知子
事務嘱託員	濵　佳緒里
〃	細田　愛美

◇事　業　課

課　　長	藤川　智之
調　査　係	
研究主査	久保脇美朗
専門研究員	氏家　敏之，原　　芳伸
	栗林　誠治，田川　　憲
主任研究員	大北　和美，島田　豊彰
研究員	近藤　大器，岩﨑　慎司
研究補助員	佐藤　俊祐，山下　直人
	杉原　範美
整　理　係	
専門研究員	近藤　　玲
研究補助員	山下　智美
普　及　係	
専門研究員	矢野　　修
主任研究員	植地　岳彦
事務嘱託員	桐山　美穂

3　組　織　図



Ⅰ　公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの概要

1　設立の目的

徳島県内における埋蔵文化財（出土した文化財を含む。）の調査・研究に関する事業を行い，文化財保護意識の啓発普及を図り，もって地域文化の振興に寄与することを目的とする。

2　設立年月日

平成元年４月１日（平成２２年４月１日公益財団法人移行）

3　事業内容

⑴ 埋蔵文化財の発掘調査及び研究を行う事業

⑵ 出土した文化財の整理及び保存を行う事業

⑶ 埋蔵文化財の活用及び保護意識の啓発普及に関する事業

⑷ 徳島県立埋蔵文化財総合センターの管理運営に関する事業

⑸ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4　資産及び会計

⑴ 資産構成　　財団設立当初の財産，寄附金品，事業収入，資産収入，その他収入

⑵ 資産種別　　基本財産，運用財産

⑶ 事業年度　　毎年４月１日から翌年３月 31 日まで

⑷ 基本財産　　10,000,000 円

⑸ 決 算 額　　451,607,000 円（平成 24 年度事業収入）

5　評議員

⑴ 評 議 員　　５名（定数３名以上５名以内）

⑵ 任　　期　　４年

⑶ 評議員会

①権限　　ア　評議員，理事及び監事の選任及び解任

イ　貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれら附属明細書の承認

ウ　定款の変更等

②開催　　定時評議員会（年１回開催），臨時評議員会

6　役員

⑴ 理　　事　　10 名（定数３名以上 10 名以内）

理事のうち１名を理事長，１名を副理事長，１名を専務理事，１名を常務理事とする。

⑵ 監　　事　　２名（定数２名以内）

⑶ 任　　期　　２年

⑷ 理 事 会

①権限　　ア　法人の業務執行の決定

イ　理事の職務の執行の監督

ウ　理事長，副理事長，専務理事及び常務理事の選定及び解職

②　開催　通常理事会（年２回開催），臨時理事会

7　主たる事務所

⑴ 徳島県立埋蔵文化財総合センター内

① 所 在 地　　徳島県板野郡板野町犬伏字平山 86 番２

② 敷地面積　　16,093㎡

③ 建　　物　　鉄筋コンクリート造２階建（一部鉄骨造）2,554.05㎡

事務室，研究員室，展示室，図書資料室，情報処理室，分析室，機材保管室，整理復元室，写真撮影室，木器，鉄器処理室等

8　事務局職員（平成 24 年４月１日現在）

⑴ 常勤職員　　25 名

内訳　　派遣職員等６名，財団職員 12 名，嘱託職員３名，研究補助員４名

⑵ 非常勤職員　　14 名

内訳　　調査補助員７名，整理作業員７名

Ⅱ　平成 24 年度事業概要

1　評議員会・理事会の開催状況について

⑴ 第 8 回書面理事会

開催日　　平成 24 年 4 月 1 日（日）

議　案　　理事及び監事の選任について

⑵ 第 4 回書面評議員会

開催日　　平成 24 年 4 月 1 日（日）

議　案　　理事及び監事の選任について

⑶ 第 9 回書面理事会

開催日　　平成 24 年 4 月 1 日（日）

議　案　　専務理事の選定及び所長の任命について

⑷ 第 10 回通常理事会

開催日　　平成 24 年 5 月 22 日（火）

議　案　　平成 23 年度事業報告について

平成 23 年度事業収支決算について

理事及び監事の選任について

⑸ 第 5 回定時評議員会

開催日　　平成 24 年 6 月 6 日（水）

議　案　　平成 23 年度事業報告について

平成 23 年度事業収支決算について

理事及び監事の選任について

⑹ 第 11 回書面理事会

開催日　　平成 24 年 6 月 6 日（水）

議　案　　理事長・副理事長・専務理事及び常務理事の選定について

⑺ 第 12 回通常理事会

開催日　　平成 25 年 3 月 26 日（火）

議　案　　平成 24 年度事業計画の変更について

平成 24 年度事業収支予算の補正について

平成 25 年度事業計画について

平成 25 年度事業収支予算について

退職手当支給規則の一部改正について

2　事業の実施状況について

⑴ 埋蔵文化財発掘調査業務の実施

徳島県からの委託により，8 事業 8 遺跡，表面積 15,786㎡，のべ面積 32,653㎡の発掘調査を実施した。

①四国横断自動車道（阿南～徳島東）（新居見地区）関連埋蔵文化財発掘調査業務

小松島市新居見町　新居見遺跡　3,039㎡（のべ 3,625㎡）

②四国横断自動車道（阿南～徳島東）（田浦地区）関連埋蔵文化財発掘調査業務

小松島市田浦町　　田浦遺跡　5,398㎡（のべ 12,374㎡）

③一般国道 192 号徳島南環状道路（向寺山地区）関連埋蔵文化財発掘調査業務

徳島市八万町　　法花谷古墳群　400㎡（対象 1,040㎡のうち）

④平成 24 年度那賀川河川改修事業（深瀬堤防）に伴う埋蔵文化財発掘調査業務

阿南市深瀬町　　深瀬遺跡　600㎡（のべ 2,700㎡）

⑤平成 24 年度吉野川下流域農地防災事業大寺工区（その３）関連埋蔵文化財発掘調査業務

板野郡板野町　　黒谷川郡頭遺跡　690㎡（のべ 736㎡）

⑥平成 24 年度吉野川下流域農地防災事業大寺工区（その４）関連埋蔵文化財発掘調査業務

板野郡板野町　　黒谷川郡頭遺跡　584㎡（のべ 1,168㎡）

⑦拝原最終処分場適正処理事業関連埋蔵文化財発掘調査業務

美馬市脇町　　拝東遺跡　2,775㎡（のべ 7,050㎡）

⑧平成 24 年度飯尾川河川改修工事関連埋蔵文化財発掘調査業務

名西郡石井町　　加茂野遺跡　2,300㎡（のべ 4,600㎡）

⑵ 出土埋蔵文化財整理業務の実施

徳島県から委託を受け，次のとおり出土埋蔵文化財コンテナ 480 箱分の整理業務を行った。

①中央病院改築事業関連埋蔵文化財整理業務

徳島市南蔵本町　　南蔵本遺跡　コンテナ 140 箱

②平成 24 年度県単局部道路改良事業（八多法花線）関連埋蔵文化財整理業務

徳島市渋野町　　渋野遺跡　コンテナ 70 箱　報告書 300 部

⑶ 遺物保存処理等業務

埋蔵文化財保護の拠点である県立埋蔵文化財総合センターにおいて，県内の埋蔵文化財の保存・活用がなお一層図られることを目的とし，収蔵庫内の資料整理，検索システムの構築，遺物保存処理等の業務を実施した。

また，県民や来館者に遺跡調査に関するデータや映像などを紹介することができるビジュアルガイダンスシステムの構築を行う事業を実施した。

⑷ 徳島県立埋蔵文化財総合センター（対象施設）の管理運営業務

県教育委員会から指定された同センターの指定管理者として，適切な管理運営業務を行った。

3　平成 24 年度収支決算

公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの平成 24 年度の収支決算等は次のとおりである。

⑴ 収入の部　（単位：円）

科　　目	平成 23 年度	平成 24 年度	比較増減額	備　　考
1　基本財産運用収入	66,124	30,003	△ 36,121	
2　事　業　収　入	402,160,600	451,607,000	49,446,400	
3　特定資産運用収入	22,890	26,943	4,053	
4　雑　　収　　入	117,400	616,480	499,080	
5　繰　　越　　金	2,964,713	3,030,837	66,124	
合　　計	405,331,727	455,311,263	49,979,536	

⑵ 支出の部　（単位：円）

科　　目	平成 23 年度	平成 24 年度	比較増減額	備　　考
1　事　　業　　費	364,635,105	413,155,258	48,520,153	
2　管　　理　　費	37,665,785	39,125,168	1,459,383	
合　　計	402,300,890	452,280,426	49,979,536	

⑶ 平成 24 年度収支差額

収入額合計	455,311,263 円
支出額合計	452,280,426 円
次期繰越額	3,030,837 円

⑷ 事業量の推移

年度	発掘面積（㎡）	整理コンテナ数（箱）	総事業費（円）
平成 元	28,480	2,168	156,518,712
2	192,320	—	901,759,018
3	79,169	1,994	373,471,037
4	62,871	1,237	288,440,306
5	17,414	708	411,395,390
6	22,206	572	466,667,478
7	98,707	819	1,806,576,390
8	246,852	1,016	3,073,287,360
9	102,161	1,145	3,471,304,650
10	72,204	2,655	1,746,591,400
11	53,253	2,783	1,879,475,750
12	92,473	2,403	2,231,271,799
13	92,745	2,800	1,907,957,562
14	92,714	2,800	1,772,501,177
15	73,738	2,817	1,517,108,520
16	27,328	2,803	963,345,800
17	24,596	2,800	942,687,000
18	28,150	2,800	855,382,500
19	28,711	2,940	879,415,900
20	21,365	700	467,417,000
21	22,680	480	465,879,000
22	22,504	420	379,320,800
23	28,284	140	402,160,600
24	26,264	280	451,607,000

Ⅲ　調査事業報告

当初計画では，6 事業 6 遺跡，のべ面積 37,495㎡の発掘調査を行うとしていたが，変更の結果，のべ面積 25,075㎡の発掘調査を実施した。

変更が行われた点は，着手遺跡・調査期間・受託金額などである。変更が生じた主な理由は，遺構面数や密度が当初設計と異なるものであったこと，調査期間が変更された遺跡があることなどによる。

地域で見ると，県東部（徳島市・小松島市・石井町・板野町）および県南部（阿南市）で実施された。

小松島市域で実施している田浦遺跡と新居見遺跡は，四国横断自動車道の小松島－阿南間に位置し，この数年の調査を継続的に行っている。また，黒谷川郡頭遺跡・加茂野遺跡・深瀬遺跡においてもそれぞれ複数年にわたる調査が行われる地点である。

黒谷川郡頭遺跡は，昭和 50 年代から行われた河川改修に伴う 10 次にわたる調査を経て竪穴住居などの多くの遺構と「東阿波型」と呼称される規格性の高い土器群の出土などにより，吉野川下流域を代表する弥生時代集落とされている。今回の調査地点はそれらの地点からみれば北の地点に当たる。弥生時代後期の遺構面では，竪穴住居 12 棟を検出したが，これまでの調査範囲の中でも有数の遺構密度である。住居を縫うように開削される大型の区画溝は東西に流れ，これまでの調査で想定された集落の小単位をなす。出土品の特殊性から「阿波の玄関口」としての機能を持っていたと考えられてきたが，新たな集落構成の発見されたことによって，今後の出土品の分析にも期待が集まる。

新居見遺跡は，平成 21 年度以降継続して調査が行われている。山裾の調査区では縄文時代から平安時代までの遺構があり，北よりの調査区では鎌倉時代以降の遺構が地点を移しながら集落を形成する。縄文時代の成果では，平成 22 年度調査において県下初の土偶の出土した。この隣接地において，あらたに出土した土器から，土偶の年代を縄文時代晩期中頃に確定した。

田浦遺跡は，連続する妙蓮と子安の 2 地区からなる。北よりの妙蓮地区では 12 世紀後半の多数の建物跡と建物群に先行する縦横に直交する溝，整然とした配置の井戸 4 基などが検出された。出土遺物が少なく評価は困難であるが，低平地に短期間に建物が建てられており，こうした点も解明の一つの糸口とみることになろう。また下層には古墳時代後期から平安時代にかけての遺構面および弥生時代の遺物包含層も広範囲に広がる。新居見遺跡と併せて勝浦川流域の集落のあり方が判明する。子安地区では，南端の河道内を中心に円筒を中心とする埴輪がまとまって出土している。事業地外に隣接して 2 基の古墳の存在（子安観音古墳・お子守塚）が知られており，これら 2 基に伴うかかあるいは未知の古墳に伴うかは判断できないものの，古墳の削平に際して埴輪が移動したと考えられている。勝浦川をはさんで位置する渋野古墳群との関係により今後研究上注目されることは間違いない。（藤川）

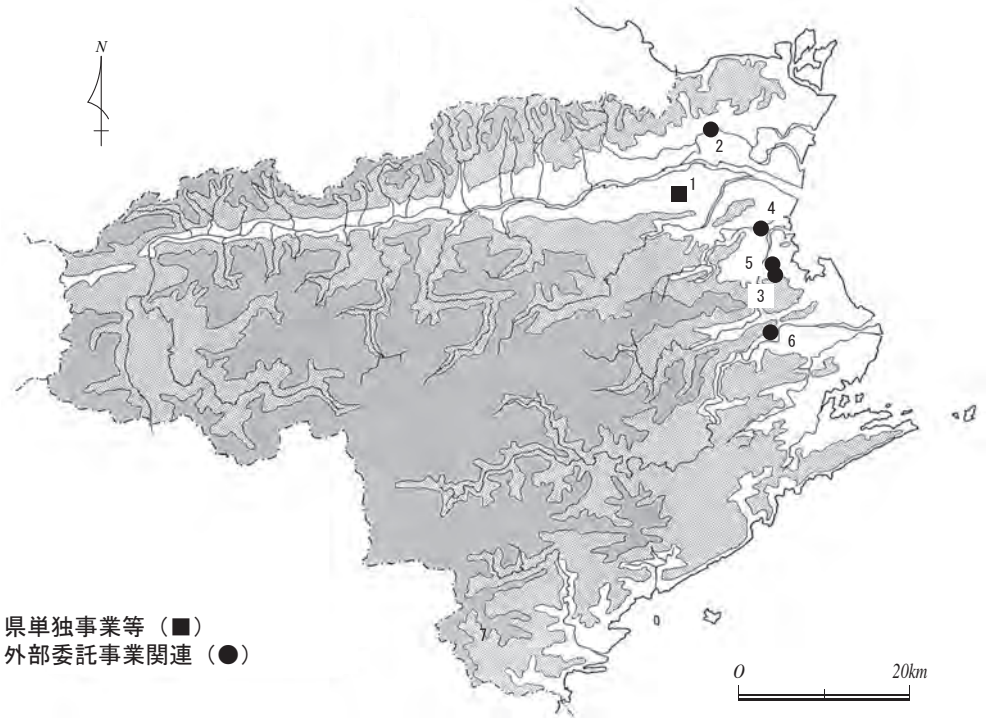
県単独事業等関連埋蔵文化財発掘調査業務一覧

	遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
1	加茂野遺跡	名西郡石井町高川原	2,300㎡ （調査面積） 4,600㎡ （のべ面積）	H24.4.1 ～ H24.8.31	弥生時代 ◎ 平安時代 ○ 鎌倉時代	掘立柱建物・溝・土坑・自然流路	土師質土器・緑釉陶器・須恵質土器・瓦器・輸入磁器

外部委託事業等関連埋蔵文化財発掘調査業務一覧

	遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
2	黒谷川郡頭遺跡	板野郡板野町大寺	690㎡ （調査面積） 736㎡ （のべ面積）	H24.4.1 ～ H24.8.31	◎ 弥生時代 ◎ 奈良時代 平安時代	竪穴住居・土坑・柱穴・自然流路	弥生土器・土師土器・緑釉陶器・黒色土器・瓦・金属製品・石製品
3	新居見遺跡	小松島市新居見町山路ほか	3,039㎡ （調査面積） 3,625㎡ （のべ面積）	H24.6.1 ～ H25.3.31	○ 縄文時代 ○ 弥生時代 ○ 古墳時代 平安時代 鎌倉時代 ◎ 室町時代	掘立柱建物・井戸・小型石室・自然流路	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・輸入磁器・金属製品・石製品
4	法花谷古墳群	徳島市八万町	1,040㎡ （調査面積）	H24.7.1 ～ H24.8.31	江戸時代	近世墓	
5	田浦遺跡	小松島市田浦町	5,398㎡ （調査面積） 12,374㎡ （のべ面積）	H24.6.1 ～ H25.3.31	○ 弥生時代 ◎ 古墳時代 ○ 奈良時代 ○ 平安時代 ◎ 鎌倉時代	掘立柱建物・溝・土坑	弥生土器・土師器・須恵器・円筒埴輪・瓦器・鉄器
6	深瀬遺跡	阿南市深瀬町	600㎡ （調査面積） 2,700㎡ （のべ面積）	H24.11.1 ～ H25.3.31	○ 縄文時代 ○ 弥生時代 ○ 鎌倉時代	掘立柱建物・土坑	縄文土器・弥生土器・瓦器・石製品

発掘調査業務一覧



発掘調査地点位置図

加 茂 野 遺 跡

所 在 地　名西郡石井町高川原字加茂野 131 ほか
調査期間　平成 24 年 4 月 1 日～8 月 31 日
担 当 者　久保脇　栗林　山下（智）　原　山下（直）

1　調査地の位置（川島）

調査概要

加茂野遺跡は，飯尾川沿いの標高 L＝6.00 m 前後の平野部に位置する。試掘結果から飯尾川の左右両岸に遺構・遺物の拡がりが確認されている。調査地点周辺には，桜間遺跡，敷地遺跡，矢野遺跡，延命遺跡，高川原遺跡，清成遺跡など弥生～古墳時代を中心とした拠点的な集落遺跡が展開する。

遺構と遺物

発掘調査では，鎌倉時代後半頃，平安時代後期頃の 2 時期の遺構・遺物を確認した。遺構面は 3 面確認され，第 1 遺構面および第 2 遺構面（鎌倉時代後半）においては，掘立柱建物跡を含む多数の柱穴群や土壙墓・区画と思われる溝などが出土し，調査区全域で集落の展開が明らかになった。第 3 遺構面とした平安時代の遺構面では，柱穴群・土坑群のほか，区画溝と思われる溝状遺構も数条出土している。

出土遺物については，中世では，土師質土器・須恵質土器・瓦器・国産の陶器・磁器などのほか，若干の青磁や白磁などの輸入磁器もみられた。また出土した瓦器椀は，ほぼ和泉型と呼ばれる搬入品で占められ，これらのことなどから人々の活発な交流が伺われる。古代では，赤色塗彩の土師器皿・緑釉陶器などが出土した。

2　第 1 遺構面　土壙墓群（南西から）

3　弥生時代の区画溝

ま と め

平成 23 年度調査成果も踏まえ，加茂野遺跡は，弥生時代後期以降，中世に至るまで遺跡が継続的に営まれてきたことが明らかになってきた。今回の調査においても当該期の遺構・遺物が一定量まとまって確認されたことは，遺跡の様相を解明する上で貴重な資料の追加となった。（原）

4　主な出土遺物

新 居 見 遺 跡

所 在 地　小松島市新居見町山路 27 番地ほか
調査期間　平成24年９月１日～平成25年３月31日
担 当 者　氏家　島田　近藤（大）

調査概要

本遺跡は勝浦川南岸の沖積地に所在しており，標高は約３ｍを測る。周辺には前山古墳，弁慶の岩屋古墳や新居見城などが存在している。当地は古代には「新居郷」に比定され，10 世紀後半には勝浦川河口付近を中心に成立した「新島庄」のうち「勝浦庄」に含まれる地域で，鎌倉時代に入ると「太奈保」に比定されている。

遺構と遺物

調査区は南側の B3 区と北側の A4・6 区の調査が行われ，B3 区からは古墳時代の埋葬施設が検出された。径５ｍほどの小型の円墳の主体部が削平され，周溝のみが残る遺構が 13 基と石で木棺を覆ったとみられる小型の埋葬施設が６基確認された。周溝内からは須恵器，鉄鏃，砥石などが，一方の埋葬施設内からはガラス玉や刀子が出土している。年代は５世紀後半から７世紀半ば頃である。

A4・6 区からは掘立柱建物，井戸などの遺構が全体に拡がっていることが確認された。

これまでの周辺の調査から建物群の周りには区画溝が存在しており，方形の屋敷地が連なるように集落を形成していたものと考えられる。年代は出土遺物から主に 15 ～ 16 世紀である。

ま と め

古墳はこれまでの調査から横穴式石室を伴うものから小型の埋葬施設のみが構築されるものまで種々存在しており，被葬者の階層差が反映されていると考えられる。中世の屋敷地は鎌倉時代から続く荘園を構成する集落で存在していたものと考えられる。（氏家）

1　調査地の位置（阿波富岡）

2　古墳時代遺構完掘状況

3　古墳時代石室完掘状況

4　中世遺構完掘状況

法 花 谷 古 墳 群

所 在 地　徳島市八万町法花谷 30 番地ほか
調査期間　平成24年7月1日～平成24年8月31日
担 当 者　氏家　近藤（大）

調査概要

法花谷古墳群は園瀬川下流の向寺山山麓東端の小丘陵である法花谷山の尾根上，標高約 21 ～ 24m の付近に立地する。周辺には勢見山古墳，恵解山古墳群，犬山天神山古墳などが点在している。

遺構と遺物

表土を除去すると結晶片岩によって構築された近世の墓の下部構造が検出された。墓は墓壙を掘削した後に大谷焼の大型の甕製の棺を納めている。埋め戻された墓壙の周囲は小型板状の石で方形の区画を設け，棺の上面は大型の盤状の石で覆っている。本来はこの上に墓石が建てられていたとみられる。墓は丘陵の頂部から尾根の等高線に沿うような形で，あるところでは直線的に，またあるところでは放射状に並んで造られており，丘陵全体が墓地として機能していたものと考えられる。

ま と め

法花谷古墳群の所在する丘陵上には江戸時代後期（18 世紀後半～ 19 世紀半ば）の墓地が確認された。墓は丘陵の裾部にまでほぼ隙間なく拡がっており，表土及び墓の構築土中からは中世以前の遺物は確認されなかった。（氏家）

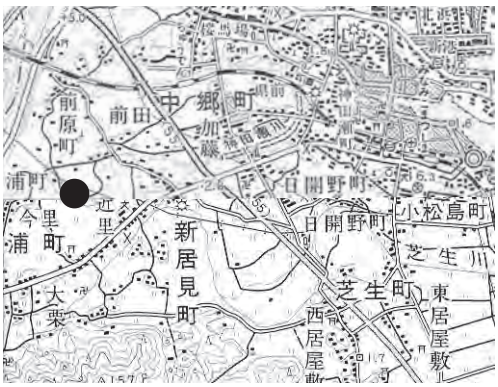
1　調査地の位置（徳島）

2　表土除去後の状況（南から）

3　完掘状況（東から）

田 浦 遺 跡

所 在 地　小松島市田浦町字妙蓮，字子安
調査期間　平成24年6月1日～平成25年3月31日
担 当 者　久保脇　山下（智）氏家　島田　岩碕
　　杉原　市村　田川



1　調査地の位置（徳島・阿波富岡）

調査概要

田浦遺跡は，勝浦川の支流である神田瀬川左岸の標高3m前後を測る微高地上に立地する。神田瀬川対岸の南側には新見遺跡が所在しており本遺跡とは比較的関係が濃い。今回の発掘調査では鎌倉時代～室町時代の集落である第1遺構面，古墳時代～平安時代の集落である第2遺構面，弥生時代後期後半？終末期土器を含む包含層を調査区のほぼ全域で確認した。

遺構と遺物

第1遺構面は遺跡の北側妙蓮地区で非常に高い遺構密度で柱穴，土坑，溝などが検出された。掘立柱建物跡が7棟以上考えられ，その南東側には方形の堀方をもつ井戸が4基確認され中世集落の状況が確認できた。

第2遺構面では遺跡南端の子安C-2区で平安期に埋没したとみられる自然流路跡を確認した。流路内からは当該期の土器とともに多量の円筒埴輪が出土した。埴輪は砂礫層を中心に河岸に沿うような出土分布範囲をもち比較的ローリングを受けていないことから，廃棄された位置に近い状態で出土したものとみられる。なお，円筒埴輪は外面調整や突帯の断面形状などから5世紀中頃のものとみられる。

1　妙蓮A-1区第Ⅰ面完掘状況

2　妙蓮A地区4号井戸断面

ま と め

子安地区C-2区の自然流路から出土した円筒埴輪片は，調査地近隣に所在する子安観音古墳およびお子守塚古墳密接な関係が考えられる一方，それ以外にも埴輪を立て並べていた古墳が存在していた可能性を十分示唆するとともに律令期に古墳を削平し土地開発を行っていたことがうかがえる。(田川)

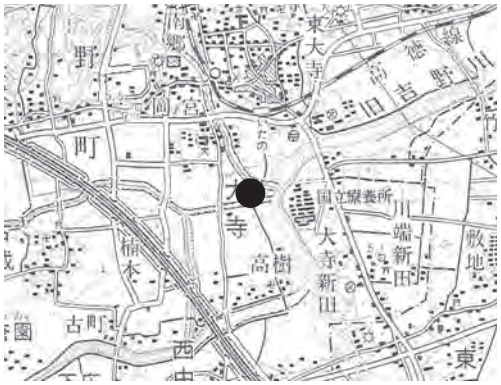
3　妙蓮地区4号井戸瓦器椀出土状況

黒谷川郡頭遺跡

所 在 地　板野郡板野町大寺字山田畑
調査期間　平成 24 年 4 月 1 日～8 月 31 日
担 当 者　久保脇　島田　岩碕　山下（智）

調査概要

本遺跡は，吉野川北岸の低湿デルタに形成された標高約 3.8m の自然堤防上に展開する，弥生時代を主体とした集落遺跡である。昭和 50 年代の調査によって弥生時代終末期を中心とする竪穴住居と掘立柱建物が計 33 棟見つかり，赤色顔料である水銀朱の精製を行っていたことが確認されている。



1　調査地の位置（川島）

遺構と遺物

今回は表面積約 580㎡という小規模調査にもかかわらず竪穴住居 9 棟や区画溝 1 条など 150 基超もの遺構を検出した。本遺跡における建物総数は 46 棟となり，同時期の遺跡で県下最大級の規模を誇る。また面積に占める遺構の割合は 7 割を超えること，遺物総数は 33 万点を超える膨大な量であることから，黒谷川郡頭遺跡の中心にあたるものとみられる。

今回検出された最大の住居は東西 8.9m，南北 8.4m，面積約 60㎡で，六角形の平面プランを持つ。中央部に長楕円形状の大型炉と円形状の小型炉がセットとなるイチマル土坑と呼ばれる炉を備える。多角形住居は県下 3 例目であり，うち 2 例が本遺跡の事例である。多角形住居やイチマル土坑は兵庫県の播磨地域に起源をもつと考えられ，本遺跡で同じ構造の住居が確認できたことから播磨地域と密接な交流を行っていたと推測できる。

2　多角形住居

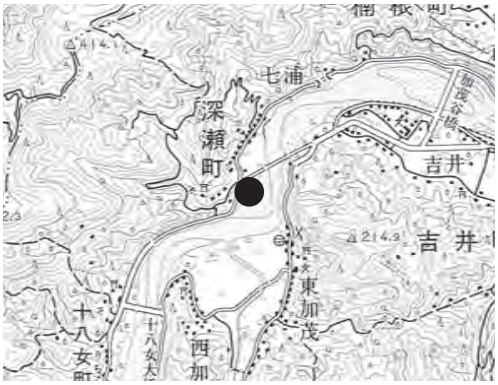
ま と め

これまで数次にわたる調査によって，本遺跡が県下最大級の弥生終末期集落であること，播磨地域との繋がりが想定できることなど多くの重要な成果が上がった。また出土遺物に朱の精製に用いられる石臼や石杵が含まれること，遺跡が河川・海・陸上交通の結節点に立地していることから，朱を生産し他地域に搬出する拠点的集落であった可能性が指摘される。（島田）

3　SB5003 蛇紋岩製勾玉出土

深 瀬 遺 跡

所 在 地　阿南市深瀬町岡崎ほか
調査期間　平成24年11月1日～平成25年3月31日
担 当 者　原　山下（智）



1　調査地の位置（阿波富岡）

調査概要

深瀬遺跡は，阿南市深瀬町の那賀川中流左岸，標高 L ＝約 25m の河岸段丘上に立地する。那賀川は，遺跡の所在する深瀬町では南から北へ流れ，調査地点付近で東から西へ屈曲し，中州を形成している。段丘面は，那賀川と岡崎川に挟まれた尾根の麓から東に向けて延びる。平成 24 年度は，平成 22 年度調査区の北側，段丘の北東に広がる緩斜面を対象に調査を実施した。

遺構と遺物

今回の調査では，遺構面が形成される段丘面が北東および南東方向へ消長していくため，遺構・遺物ともに量的には少ないものの，前回調査成果の追認ができ，遺構・遺物の消長および遺跡の範囲を把握する上で，一定の調査成果を上げることができた。

これまでに知られている那賀川流域の遺跡は，いずれも短期間に営まれたものが知られるが，本遺跡は縄文～弥生～古墳～平安～鎌倉時代の複数の時代にわたり，継続的に集落が営まれた遺跡であることが明らかになった。

特に縄文時代では，平成 22 年度調査に引き続いて 3 面の遺構面が確認された。縄文後期末の宮瀧式土器，中期初頭の鷹島式土器，前期末の大歳山式土器をそれぞれ主体とすると考えられ，縄文時代前期末・中期初頭・後期末の遺構面が層位的に重なった状態で確認された事例は希有である。

2　第 3 遺物包含層　弥生土器（前期）

3　第 5 遺物包含層

ま と め

本遺跡の調査で得た資料は，西日本の縄文土器文化を考える上で重要な成果を提示することができた。また当該地域においては，那賀川左岸に延びる南面した河岸段丘の支脈上にも遺跡の存在が推測される。（原）

4　主な出土遺物

Ⅳ　整理事業報告

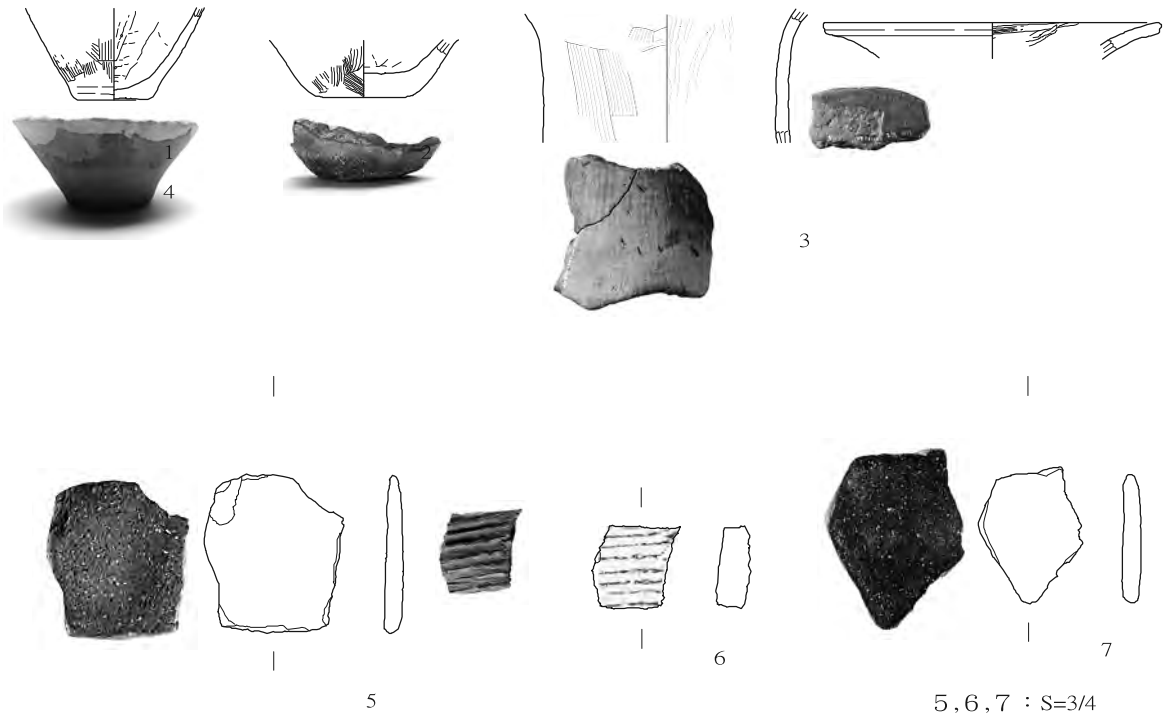
平成 24 年度は，中央病院改築事業と県道八多法花線改良事業の 2 事業 2 遺跡の整理作業を行い，担当研究員 2 名，整理作業員延べ 1920 人が従事した。

中央病院改築事業に伴う埋蔵文化財整理業務，南蔵本遺跡では，平成 18･19･20 年度出土分の遺物洗浄，注記，接合，復元を行い，遺物実測，遺物観察表入力，遺物･遺構トレースを行った。今回の整理では，平成 19 年度に出土した黒漆塗りの飾り弓の放射性炭素年代測定（AMS 法による）をはじめ，漆の成分分析，飾り弓の保存処理，鉄製品分析，土器胎土分析を外部委託して行っている。詳細は，次年度刊行の本報告書で記載する。

一方，県道八多法花線改良事業に伴う整理業務，渋野遺跡では，平成 21・22 年度出土分の整理作業を行い，弥生時代後期，鎌倉～室町時代の 2 時期の遺構面について明らかにし，徳島県埋蔵文化財センター調査報告書第 83 集『渋野遺跡　県道八多法花線改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』を刊行した。（近藤）

出土品整理業務一覧

事業名	遺跡名	所在地	事業者	整理期間	整理担当者	整理概要
中央病院改築事業関連埋蔵文化財整理業務	南蔵本遺跡	徳島市南蔵本町	徳島県病院局	2012/4/1 ～ 2013/3/31	近藤・栗林	遺物洗浄･注記･接合･復元･実測･トレース･観察表作成
県道八多法花線改良事業関連埋蔵文化財整理業務	渋野遺跡	徳島市渋野町	徳島県道路整備課	2012/4/1 ～ 9/30	栗林	整理全般・報告書刊行



第 78 図　第 2 包含層出土遺物図 (1)
第 83 集『渋野遺跡』報告書 97 頁より

Ⅴ　普及事業報告

平成 24 年度の普及事業は，埋蔵文化財の保護・活用と普及啓発を目的とし，指定管理者としての自主事業を中心に，従来の業務も継承しながら，更なる充実のための創意工夫を加えて実施した。

1　管理運営業務

収蔵庫資料整理等業務

埋蔵文化財保護の拠点である県立埋蔵文化財総合センターにおいて，県内の埋蔵文化財の保存・活用が一層図られることを目的とし，遺物保存処理，収蔵庫内の資料保管，検索ファイルの作成，図書受納等の業務を行った。

受贈図書数　1,810 冊

2　徳島県立埋蔵文化財総合センター（対象施設）の管理運営業務

県教育委員会から指定された同センターの指定管理者として，管理運営事業計画に記載した管理運営の基本方針（利用促進，サービス向上，コスト削減，施設の適正な維持管理，地域への貢献・連携，安全管理，環境への配慮）に沿って，適切な管理運営業務を実施した。

⑴ 対象施設の利用状況

・期　　間　　平成 24 年 4 月 1 日（日）～平成 25 年 3 月 31 日（日）

・来所者数　　7,003 名

⑵ 自主事業の実施状況

①『アワコウコ楽の逸品』展示　　テーマを設定し，企画展を 3 回実施した。

第 1 回　『夏休み特別展示－本物の出土品をさわってみよう－』

・実施期間　　平成 24 年 8 月 1 日（水）～ 8 月 31 日（金）

・来所者数　　1,345 名

第 2 回　アワコウコ楽倶楽部活動成果展『遺跡に残された地震痕』

・実施期間　　平成 24 年 9 月 11 日（火）～ 11 月 18 日（日）

・来所者数　　1,754 名

第 3 回　『阿南市国高山古墳の出土品』

・実施期間　　平成 24 年 11 月 20 日（火）～ 12 月 16 日（日）

・来所者数　　260 名

②『阿波式石棺の世界－犬山天神山古墳－』

犬山天神山古墳の発掘調査成果を生かし，展示と展示解説を実施した。古代体験広場に箱形石棺 2 基（向寺山遺跡・桧北山古墳）復元展示した。

・実施期間　　平成 24 年 4 月 1 日（日）～ 5 月 27 日（日）

・来所者数　　988 名

・展示解説実施日　平成 24 年 5 月 20 日（日）藤川事業課長

・参加者数　　28 名

③第 12 回鳴門史学会 2012 年度研究大会『阿波の古代を考える』（共同開催）

・実 施 日　　平成 24 年 10 月 13 日（土）

・来所者数　　93 名

④四国地区埋蔵文化財センター巡回展『続・発掘へんろ－四国の古代』

四国各県の古代の遺跡から出土した遺物の内，代表的なものを選出して企画展示を行った。

・実施期間　　平成 25 年 1 月 10 日（木）～ 3 月 17 日（日）

・来所者数　　927 名

関連行事　おもしろ古代体験『土馬をつくろう』

・実 施 日　　平成 25 年 1 月 20 日（日）成形

平成 25 年 3 月 24 日（日）焼成

・参加者数　　21 名

⑤古代体験まつり

古代体験を 1 日でたくさんできるイベントとして実施した。

・実施内容　　銅鐸，コハク勾玉，古代米脱穀，麦種まき，火おこし，缶バッジ，組紐，古代衣装試着，まいぶんスケッチコンクール，古代米ポン菓子

・実 施 日　　平成 24 年 10 月 27 日（日）

・来所者数　　345 名

古代体験まつり受付の様子

⑥夏休みおもしろ古代体験

夏休み特別企画として，児童・生徒対象に古代体験を実施した。

・実施期間

『ガラス玉づくり』　平成 24 年 7 月 31 日（火）・8 月 1 日（水）

『木簡づくり』　平成 24 年 8 月 7 日（火）・8 月 8 日（金）

『勾玉づくり』　平成 24 年 8 月 14 日（火）・8 月15 日（水）

『銅鏡銅鐸づくり』　平成 24 年 8 月 22 日（水）～ 24 日（金）

・参加者数　　306 名

夏休みおもしろ古代体験（ガラス玉）

⑦木曜・日曜勾玉教室

・実 施 日　　毎週木曜日 13：00 ～ 16：00　毎月第 2 日曜日 10：00 ～ 16：00

・来所者数　　228 名

⑧古代ものづくりプロジェクト『草木染体験』（アワコウコ楽倶楽部ボランティアと共同開催）

延喜式に記録があるキハダとスオウを染料として，黄色と紅のハンカチを製作した。準備・運営・片付け等はボランティアが中心となって実施した。

・実 施 日　　平成 24 年 12 月 23 日（日）

・来所者数　　9 名　ボランティア 8 名

⑨まいぶんスケッチコンクール

受付係が中心となって，展示室にある遺物を題材として色鉛筆で絵を描くイベントを実施した。実施後，優秀作品を選定し，古代体験まつり開催日に表彰を行った。作品はエントランスに展示し，HP 上で公開した。

・実施期間　　夏季　平成 24 年 7 月～ 8 月　冬季　平成 24 年 12 月～平成 25 年 1 月

・参加者数　　53 名

この他，開所日には実習室や体験テントを利用して，開所日に古代体験学習として，組紐づくりや古代体験衣装試着を行った。

⑩土曜考古学専門講座　全 6 回

『考古学から見た邪馬台国時代の阿波』（6/9・7/21・8/18・9/15・11/17・12/15）

講師　菅原　康夫（公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター　常務理事）

・受講者数　　316 名

⑪アワコウコ楽公開講座

アワコウコ楽公開講座前期講座

㈠ 前期講座　『2012 発掘とくしま』関連講座

第 1 回　平成 24 年 7 月 1 日（日）

講演　『古墳人骨からわかること－箱形石棺と人骨－』

講師　清家　章　氏（高知大学教授）

・受講者数　　81 名

第 2 回　平成 24 年 7 月 8 日（日）

講演『徳島のブランド－結晶片岩（青石の流通から見る交易の実像）－』

講師　中村　豊　氏（徳島大学埋蔵文化財調査室長）

・受講者数　　67 名

上記 2 回の講座は，公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターが専門的立場から提案を行い，徳島県教育委員会と共催した。

㈡ 後期講座　『続・発掘へんろ－四国の古代－』関連講座

第 1 回　平成 25 年 2 月 17 日（日）

四国各県の埋蔵文化財調査成果報告

・受講者数　　60 名

第 2 回　平成 25 年 2 月 23 日（土）

講演『律令制への変革－久米官衙遺跡群と観音寺遺跡の事例から－』

講師　森　公章　氏（東洋大学文学部教授）

・受講者数　　57 名

⑫アワコウコ学ボランティア養成講座

・基礎講座と応用講座　全 9 回（10/7・10/10・11/8・11/17・1/29・3/17）

㈠ 開講式・ガイダンス

㈡ 万葉の草花を楽しむプロジェクト講座

㈢ 古代ものづくりプロジェクト講座

㈣ 遺跡案内人プロジェクト講座

㈤ 各プロジェクトにおいて実習　3 回

㈥ 館外実習

㈦ 修了式（6 名修了）

⑬アワコウコ学ボランティア倶楽部

(ｱ) 万葉の草花を楽しむプロジェクト講座・・・古代ハスの栽培や万葉集研究を行った。

(ｲ) 古代ものづくりプロジェクト講座・・・・・草木染めを研究し，イベントを開催した。

(ｳ) 遺跡案内人プロジェクト講座・・・・・・・『遺跡に残された地震痕』について研究した。

・実施回数　実習・自習会あわせて　39 回

・参加者数　のべ　163 名

古代ものづくりプロジェクト
草木染研究

⑭板野町遺跡ウォーキング

センター周辺の遺跡（宮ノ前遺跡・板西城跡等）を見学しながら身近な遺跡について学んだ。

・実 施 日　平成 24 年 10 月 10 日（水）

・参加者数　11 名

⑮古代政治のみち史跡巡り（国府町周辺）

徳島市国府町・石井町にある国分尼寺跡，国分寺跡礎石，石井廃寺，阿波国造墓碑などを見学し，阿波国府の実像について学んだ。

・実 施 日　平成 25 年 3 月 10 日（日）

・参加者数　27 名

(3) 徳島県立埋蔵文化財総合センター公式ホームページの管理

・アクセス数　19,972

(4) 団体来館対応　38 団体　1,126 名

団体利用（勾玉づくり）

団体利用（展示説明）

	来館月	来館団体名	見学	勾玉	その他	人数
1	4/26	山口小学校６年生	○	○	火	9
2	5/2	内町小学校		○	火	32
3	5/18	板野東小学校６年生	○			72
4	5/25	学島小学校	○	○		22
5	5/25	クラブツーリズム	○			28
6	5/25	高志小学校５年生	○	○		30
7	6/30	高志フレンズ	○	○		15
8	7/31	山川公民館地域学習講座	○			41
9	8/2	テクノスクール	○			20
10	8/2	科学研究費女性事業徳島調査	○			33
11	8/3	藍住南小学校古代体験実習会	○			15
12	8/8	小中学校社会科研修講座	○	○		15
13	8/9	あい介護ディサービス		○		15
14	8/14	北島チューリップ		○		11
15	8/18	藍住ミニバス６年		○		9
16	8/23	初任者研修	○	○		5
17	8/30	岡本グループ		○		11
18	8/30	岡本グループ		○		19
19	9/11	板野西小学校６年	○	○		21
20	10/4	さぬき市松尾小学校・５・６年	○	○		28
21	10/5	板野南小学校	○	○	火	32
22	10/12	北島北小学校	○	○		67
23	10/16	板野西小学校４・５年	○	○	ガラス	37
24	10/26	北島南小学校６年	○	○		71
25	10/30	富田小学校６年	○	○	火	53
26	10/31	歴史を楽しもう会	○			45
27	11/1	堀グループ		○		5
28	11/9	高松市多肥小学校	○			157
29	11/9	三本松小学校	○	○		49
30	11/27	クラブツーリズム歴史を楽しもう	○			25
31	12/6	歴史を楽しもうの会	○	○	火	11
32	12/7	大俣小学校	○	○		28
33	1/22	板野西小学校３年	○			28
34	1/25	東かがわ歴史研究会		○	銅鐸	6
35	2/6	辻小学校６年	○		火	17
36	2/6	板野ボランティアグループ	○			11
37	3/17	ボーイスカウト徳島第７団	○	○		21
38	3/19	コープ自然派しこく	○	○		12
合計						1,126

3 『徳島のいにしえ再発見　埋蔵文化財総合活用事業』の実施

埋蔵文化財速報展『発掘とくしま』

平成 23 年度に発掘した遺跡からの主要な出土品を展示し，その調査成果をいち早く県民に紹介するとともに，各種関連行事も実施し，郷土の歴史に対する理解と認識，文化財保護意識の向上に努めた。

・実施期間　　平成 24 年 6 月 12 日（火）～ 7 月 22 日（日）

・実施場所　　徳島県立埋蔵文化財総合センター

・速報展示　　新居見遺跡（小松島市）・加茂野遺跡（石井町）・清成遺跡（石井町）
　　犬山天神山古墳（徳島市）・黒谷川郡頭遺跡（板野町）・田浦遺跡（小松島市）

・テーマ展示『ムラの発展　－弥生時代から古墳時代へ－』

・関連行事

①調査成果報告会Ⅰ・講演会　平成 24 年 6 月 30 日（土）

報　　告　加茂野遺跡（原専門研究員）・新居見遺跡（佐藤研究補助員）

犬山天神山古墳（栗林専門研究員）

講　　演　『古墳人骨からわかること　－箱形石棺と人骨－』

講　　師　清家　章　氏（高知大学教授）

参加者数　　81 名

②調査成果報告会Ⅱテーマ展示説明並びに講演会

報　　告　清成遺跡（田川専門研究員）・黒谷川郡頭遺跡（久保脇研究主査）

テーマ展示解説　『ムラの発展　－弥生～古墳時代へ－』（近藤専門研究員）

講　　演　『徳島のブランド－結晶片岩（青石）の流通から見る交易の実像－』

講　　師　中村　豊　氏（徳島大学埋蔵文化財調査室長）

参加者数　　67 名

いにしえ再発見事業（土製品づくり）

③おもしろ古代体験『分銅形土製品をつくろう』

・実施日　平成 24 年 7 月 15 日（日）

・参加者数　55 名

④ヴィジュアルガイダンスシステム構築

遺跡・埋蔵文化財に関する電子データを活用するため，大型テレビ 1 台・タブレット 3 台・BR レコーダー・無線機器等を導入し，利用者が埋蔵文化財を映像として利用できるように整備した。

4　その他の普及事業

⑴ 埋文 WEB の管理運営

現地説明会の案内・各種イベント案内・発掘作業員などの募集案内や公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの活動内容全般を掲載した。

・アクセス数　23,384

⑵ 埋蔵文化財センター年報の刊行

・埋蔵文化財センター年報 Vol.23　500 部

⑶ 各種研修の受け入れ

①教職員初任者研修会

県教職員研修課主催の初任者研修の一環として，社会・自然体験（郷土を知る）研修を行った。

・期　　日　平成 24 年 8 月 23 日（木）

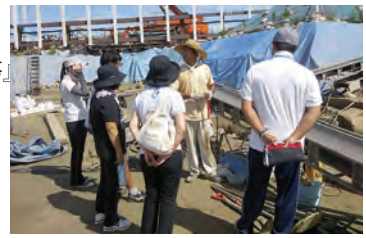
・研　　修　内容講義『埋蔵文化財について』『埋蔵文化財センターの業務』

整理業務・収蔵庫の施設見学，常設展・企画展見学，普及活動体験

講義『埋蔵文化財センターの活用方法』

現地研修『周辺の史跡・遺跡見学』黒谷川郡頭遺跡

・参加者数　5 名



教員初任研現地研修（黒谷川郡頭遺跡）

②職場体験学習

中学生（板野中学校）の進路指導の一環として実習体験を行った。

・期　　日　平成 24 年 10 月 30 日（火）・31 日（水）

・研　　修　内容　普及業務体験（県埋蔵文化財総合センター）

・参加者数　４名

③高校生インターンシップ

高校生（板野高校）の進路指導の一環として実習体験を行った。

・期　　日　平成 25 年 1 月 22 日（火）・23 日（水）

・研修内容　発掘調査業務（田浦遺跡）・普及業務体験（県埋蔵文化財総合センター）

・参加者数　４名

⑷ 職員の対外活動

No.	期日	内容	参加者
1	4/1 ～ 3/31	阿波市文化財保護審議会委員の委嘱	大北
2	4/1 ～ 3/31	文化庁埋蔵文化財発掘調査体制の整備充実に関する調査研究委員会に関する協力者の委嘱	菅原
3	5/19	徳島市立考古資料館「市民学芸員考古楽講座」講師	藤川
4	6/2	徳島市立考古資料館「市民学芸員考古楽講座」講師	島田
5	6/17	三好郡郷土史会講演会講師 (三好市)	大北
6	7/1 ～ 3/31	小松島市文化財保護審議会委員の委嘱	藤川
7	7/25	徳島県立文書館平成 24 年度　古文書保存講座	植地
8	9/8	考古学研究会岡山９月例会調査成果と研究報告（岡山市）	栗林
9	12/21	平成 24 年度徳島県市町村文化財指導者講習会の講師	菅原
10	1/28	第６回木簡ワークショップへの出席（独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所）	藤川・植地

⑸ 発掘現場における普及事業

平成 24 年度の発掘調査中の遺跡等の調査成果を現地で広く県民に公開した。

現地説明会（田浦遺跡）

田浦遺跡

	日付	遺跡名	所在地	参加者数	事業	主な内容
H24	3 / 2	新居見遺跡・田浦遺跡	小松島市新居見町・田浦町	200	四国横断自動車道	隣接古墳に樹立された良好な状態での埴輪類の出土

⑹ 考古資料の活用

資料の借用・掲載・転載・撮影・実見等　　47 件（対象資料数　1,412 点）

№.	申請様式	資料名等	掲載	閲覧	貸出	他	申請者	利用目的等
1	出版物掲載	国府町周辺の空中写真他　全 30 点	30				公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター	巡回展「続・発掘へんろ」のパネル等，展示・広報に使用
2	展示（64 日間）	国分尼寺出土軒丸瓦他　全 27 点			27		公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター	巡回展「続・発掘へんろ」のパネル等，展示・広報に使用
3	展示（35 日間）	国分尼寺出土軒丸瓦他　全 27 点			27		公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター	巡回展「続・発掘へんろ」のパネル等，展示・広報に使用
4	展示（42 日間）	国分尼寺出土軒丸瓦他　全 27 点			27		公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター	巡回展「続・発掘へんろ」のパネル等，展示・広報に使用
5	展示（50 日間）	国分尼寺出土軒丸瓦他　全 27 点			27		公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター	巡回展「続・発掘へんろ」のパネル等，展示・広報に使用
6	展示（49 日間）	国分尼寺出土軒丸瓦他　全 27 点			27		公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター	巡回展「続・発掘へんろ」のパネル等，展示・広報に使用
7	展示（70 日間）	国分尼寺出土軒丸瓦他　全 27 点			27		公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター	巡回展「続・発掘へんろ」のパネル等，展示・広報に使用
8	展示（63 日間）	犬山天神山古墳出土捩文鏡　他全 83 点			83		公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター	「阿波式石棺の世界―徳島市犬山天神山古墳展―」に展示
9	閲覧	観音寺出土７７号木簡「論語墨書あり」		1			栃木県足利市立美術館長 大澤伸啓	足利市立美術館に於いて論語の普及を展示する際の資料
10	閲覧	丸山遺跡・西原遺跡・大谷尻遺跡出土石器及び土器		36			愛知県埋蔵文化財センター 石黒立人	弥生時代生業調査
11	出版物掲載	石包丁写真データ	1				教学研究者 津富賢治	夏休みドリル６年設問のカットとして
12	閲覧・撮影	大柿遺跡出土土器群矢野遺跡出土土器群		749			千葉県教育庁主任上席文化財主事　加納実	縄文時代における東西日本土器群の併行関係を確認するため
13	貸出	縄文土器片　堅果類土層剥ぎ取り　石器　須恵器他			11		（公財）徳島県埋蔵文化財センター 大北和美	三好郷土史研究会講演資料
14	出版物掲載	大代古墳　中前川２丁目遺跡注連縄文茶碗他写真データ	3				株式会社人物往来社文庫編集部　齋藤勝美	新人物文庫「徳島県謎解き散歩」本文掲載のため
15	印刷物展示	大代古墳・西山谷古墳・萩原１号墳写真データ	13				鳴門市教育委員会育長 近藤芳夫	大代古墳展示会におけるパネル展示のため
16	閲覧	川西遺跡出土遺物		46			教育文化政策課 石井伸夫	科学研究費助成事業徳島県調査のため
17	印刷物展示	矢野遺跡出土土製仮面等の写真資料 19 点	19				徳島市教育委員会教育長 石井博 考古資料館長 一山典	徳島市立考古資料館展示会のため
18	閲覧・撮影	矢野遺跡 SB2044 出土鉄製品関連遺物		34			奈良櫃考研企画課主任研究員　青柳泰介	脇本遺跡出土品との比較検討のため
19	閲覧・撮影	観音寺遺跡（Ⅳ）第 256 図掲載番号 551		1			大分市　坪根伸也	観音寺遺跡出土甕の確認
20	その他	徳島市庄・蔵本遺跡出土土壌Ｘ線撮影				14	徳島大学埋蔵文化財調査室長　中村豊	庄・蔵本遺跡出土土壌のＸ線撮影
21	出版物掲載	大松遺跡１号犬山天神山古墳立体剥ぎ取り展示写真	12				株式会社　スタジオ三十三 井上　喜代志	「遺構の保存」パンフレットへの写真掲載
22	出版物掲載	丹田古墳現地説明会資料及び写真	3				三加茂中学校 伊丹宇芳	徳島県中学校教育研究会社会部会発行「阿波のあゆみ」１００号に掲載
23	出版物掲載	矢野遺跡検出道路遺構（SG1013）写真データ	1				鳴門史学会 町田哲	「阿波の古代を考える」県連新聞記事（徳島新聞文化欄）への掲載
24	出版物掲載	矢野遺跡検出道路遺構（SG1014）写真データ	2				（公財）徳島県埋蔵文化財センター 藤川智之	「阿波の古代を考える」県連新聞記事（徳島新聞文化欄）への掲載
25	貸出・出版物掲載	観音寺遺跡出土 77 号木簡（複製）写真データ	1		1		栃木県足利市立美術長 大澤伸啓	平成 25 年４月開催の「論語と足利学校」展において展示し，図録等に掲載する。
26	出版物掲載	突線袈裟襷文銅鐸　写真データ	1				有限会社青垣出版 靄井忠義	「奈良の古代文化③論考」奈良の古代文化研究会編への掲載
27	貸出	黒谷川郡頭遺跡軒平瓦・円面硯・観音寺遺跡木簡レプリカ			23		（公財）徳島県埋蔵文化財センター 藤川智之	研究大会「阿波の古代を考える」の関連展示として使用
28	その他	西山谷２号墳出土斜縁上方作獣帯鏡写真データ他	12				（公財）徳島県埋蔵文化財センター 佐野義行	センター来館者への行事等参加者に対する記念品製作のため

No.	申請様式	資料名等	掲載	閲覧	貸出	他	申請者	利用目的等
29	出版物掲載	「阿讃山脈東南縁の古墳群」より転載	3				徳島市教育委員会教育長 石井　博 考古資料館長 一山典	徳島市立考古資料館特別企画展の展示図録への掲載・パネル作成
30	閲覧・撮影	菖蒲谷西山Ａ遺跡埴輪・谷口山古墳埴輪		9			教育文課政策課 西本和哉	個人研究
31	閲覧・計数	播磨型煮炊具コンテナ 123 箱分					（公財）徳島県埋蔵文化財センター 島田豊彰	播磨型煮炊具の計数及び論文掲載
32	出版物掲載	観音寺遺跡 77 号木簡写真データ	1				「一個人」代表取締役 菅原茂	月刊「一個人」2013 年１月号に掲載
33	出版物掲載	西山谷２号墳写真データ	1				株式会社本家松浦酒造販売　　松浦まり子	松浦酒造ウェブサイト内の大麻地方の歴史紹介コンテンツでの利用
34	貸出	大代古墳方形板短甲鉄鏃犬山天神山古墳鉄鏃			12		（公財）徳島県埋蔵文化財センター 佐野義行	エントランス展示「アワコウコ楽の逸品　阿南市国高山古墳の出土品」に使用
35	出版物掲載	観音寺遺跡 77 号木簡写真データ	1				株式会社　山川出版社長 野澤伸平	書籍「日本史リブレット 73 律令制とは何か」への掲載
36	出版物掲載	「大里古墳」写真データ	1				四国経済連合会専務理事 三木義久	スマートフォンアプリケーション「四国歴史文化道」に掲載
37	出版物掲載	犬山天神山古墳写真データ	6				（公財）徳島県埋蔵文化財センター 栗林誠治	「考古学ジャーナル」に掲載
38	撮影・出版物掲載・拓本	観音寺遺跡Ⅲ・Ⅳ出土瓦		30			高松市教育委員会文化財課　渡邊誠	奈良時代における瓦の研究及び第１３回古代瓦研究シンポジウム資料の作成
39	出版物掲載	観音寺遺跡 77 号木簡写真データ	1				Oxford University Press　, Wiebke Denecke	オックスフォード大学出版「日本文学」に掲載
40	閲覧	田井遺跡玦状耳飾　磨製石斧　三脚土器等		32			海陽町教育委員会主査 郡司早直	海陽町立博物館第３５回企画展における展示に借用するため
41	閲覧	犬山天神山古墳出土人骨		2			明治大学　研究推進員 谷畑美帆	古墳時代における埋葬人骨の古病理学的検討
42	貸出	宮ノ本遺跡縄文土器田井遺跡玦状耳飾新居見遺跡土偶他			43		海陽町立博物館長 福井脩	海陽町立博物館第３５回企画展における展示に借用するため
43	出版物掲載	阿波市西長峰遺跡分銅形土製品写真データ	1				徳島県立博物館長 高島芳弘	徳島新聞文化欄「阿波のひとがた」に掲載
44	出版物掲載	向寺山古墳調査風景写真データ	1				徳島県立博物館長 高島芳弘	博物館ニュース 89 号Ｑ＆Ａに掲載
45	出版物掲載	観音寺遺跡 77 号木簡写真データ	1				（公財）徳島県埋蔵文化財センター 佐野義行	第４回続・発掘へんろ―四国の古代―について徳島新聞に記事を掲載するため
46	出版物掲載	観音寺遺跡及び出土木簡写真データ	6				徳島県立総合教育センター所長 近藤辰夫	県立総合大学校本部主催「オンリーワンとくしま学特別講座」の広報用チラシに掲載
47	出版物掲載	黒谷川郡頭遺跡Ⅵ　住居跡写真データ	2				徳島県立博物館 岡本治代	徳島新聞夕刊「なんでもＱ＆Ａ」（テーマ：遺跡に残る地震の爪あと）に掲載
			123	940	335	14	資料活用合計	1412
回数	47		24	10	12	1		

⑺ 教材等の貸出

移動教材セット等の貸出状況　　９回（利用者　269 人）

No.	受付日	団体名	人数	貸出日	返却日	教材名
1	4/10	美馬市教育委員会	49	4/17	延長申請中	移動教材セット
2	5/7	徳島文理高等学校		5/9	5/14	移動教材セット
3	5/7	阿南市阿南第一中学校		5/15	5/18	移動教材セット
4	5/18	板野郡藍住南小学校	103	5/15	5/18	移動教材セット
5	6/27	教育文化政策課	74	7/4	7/4	移動教材セット
6	8/1	（公財）徳島県埋蔵文化財センター		8/1	8/31	移動教材セット
7	9/25	徳島文理中高校		9/25	10/2	移動教材セット
8	11/28	石井町立石井中学校	32	11/28	12/9	勾玉づくりセット
9	11/29	鳴門教育大学	11	1/15	1/30	勾玉づくりセット

⑻ 出前授業・体験等の実施　　22 回（参加者　688 名）【図 8】

№.	受付日	団体名	人数	実施日		内容
1	4/2	徳島市論田小学校６年生	60	4/18	午前	移動教材
2	4/6	吉野川市川島小学校６年生	45	5/8	午前	移動教材・火おこし (デモ)
3	4/10	阿南市桑野小学校	28	4/17	午前	移動教材
4	4/9	吉野川市山瀬小学校	51	4/9	午前	移動教材・勾玉づくり
5	4/20	吉野川市知恵島小学校	17	5/9	午前	移動教材・勾玉づくり
6	5/22	東みよし町足代小学校	22	6/14	午前	移動教材
7	6/6	徳島県スポーツ振興財団　鳴門	40	7/29	午前	移動教材・勾玉づくり
8	6/7	佐古公民館	70	7/22	午前	木簡・勾玉づくり
9	6/26	社会福祉法人　阿南福祉会	15	8/9	午後	勾玉づくり
10	6/26	徳島県スポーツ振興財団　蔵本	40	8/20	午前	移動教材・勾玉づくり
11	6/7	佐古公民館	30	8/22	午後	勾玉づくり
12	7/17	阿南市桑野小学校	28	7/17	午前	土器作り
13	8/10	社会福祉法人　阿南福祉会	18	10/1	午前	勾玉づくり
14	8/30	石井町教育委員会・石井小	11	9/19	午後	勾玉づくり
15	8/30	石井町教育委員会・石井小	11	10/17	午後	勾玉づくり
16	10/5	鳴門市大津西小学校６年生	24	10/19	午前	勾玉づくり
17	10/16	吉野川市立西麻植小学校５年生	60	12/5	午後	勾玉づくり
18	11/28	石井町立石井中学校	32	12/9	午後	勾玉づくり
19	12/20	石井町立石井小学校	11	1/16	午後	火起こし
20	1/20	鳴門市大津西小学校	30	1/26	午後	埴輪成形
21	12/3	阿南市伝統文化子ども教室	15	2/23	午後	勾玉づくり
22	1/20	鳴門市大津西小学校	30	3/16	午後	埴輪焼成

出前授業（木簡づくり）

徳島県埋蔵文化財センター年報　　Vol. 24

－平成 24（2012）年度－

平成 26 年 3 月 26 日

編集・発行　公益財団法人　徳島県埋蔵文化財センター
〒 779-0108 徳島県板野郡板野町犬伏字平山 86 番 2
TEL（088）672-4545　　FAX（088）672-4550
HP　http://www.tokushima-maibun.net　　E-mail　awapac@tokushima-maibun.net
印刷　㈱教育出版センター